

令和 3 年度 みやぎ知財セミナー
「食品関連の知財保護の実際」

1. 日 時 令和 4 年 2 月 18 日（金） 13：30～15：30
2. 主 催 宮城県産業技術総合センター
3. 共 催 日本弁理士会東北会
4. 場 所 オンライン開催
5. 講 師 田中 信治 弁理士
6. 参加者 39 名
7. 内 容

食品業界ではこれまで、商標権の取得に重点が置かれており、特許権を取得することなく製法や食品の組成に関してノウハウ秘匿が多く行われてきた。しかしながら、近年、食品分野でも様々な特許が取得されるようになってきている。また、製法や配合の他に、トクホや機能性表示食品に関連する用途発明などの出願が増えている。

そこで、成分の数値限定、トクホ・機能性表示食品との関係、官能評価の取扱いに関する特許など、食品関連特許に関するポイントを紹介するとともに、食品関連特許（包装等）を含めた知財ミックスによる保護の考え方について講義を行うこととした。

参加者からのアンケートによると、事例の紹介が分かりやすく参考になった、用途発明・官能検査に関しても具体的な説明があり分かりやすかった等の回答が得られており、概ね好評であった。

また、今年度はオンラインでの開催であったが、接続トラブルなどもなく、スムーズに開催することができた。参加者も、県内からの参加者に留まらず、東北、関東、北陸、近畿、九州の各都府県からの参加者もみられた。

また、セミナーが始まる前に、日本弁理士会東北会の取組についての紹介を行う時間を頂いて、東北会の活動内容についての説明と無料相談会の案内を行った。

文責 日本弁理士会東北会 藤田 正広